

記入漏れのないよう確認のうえ、提出願います(太枠内網掛け部分以外は全て記入)。

法第93条第1項・法第94条第1項

(で囲むこと)

1 所在地	府中市 町 × - -		
2 面積	掘削(建築)面積:	30.00 m ²	敷地面積: m ²
3 土地所有者	住所: 土地所有者、道路管理者等の住所 氏名等: 土地所有者、道路管理者等の氏名等		
4 遺跡の種類	散布地(包蔵地) 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺跡 屋敷 その他の遺跡()		
遺跡の名称	(遺跡番号)		員数
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他()		
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他()		
5 工事の目的	道路 鉄道 空港 河川 港湾 ダム 学校建設 集合住宅 個人住宅 分譲住宅 工場 店舗 個人住宅兼工場又は店舗 その他建物() 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ゴルフ場 観光開発 ガス・水道・電気等 農業基盤整備事業(農道等含む) その他農業関連事業 土砂採取 その他開発()		
6 工事主体者	住所: 市 町 - - 氏名等: 都市開発株式会社 代表取締役		
7 施工責任者	住所: 市 町 - - 氏名等: 株式会社 建設 代表取締役 × × 担当		
8 着手予定時期	平成26年 12月 6日	9 終了予定時期	平成27年 3月 30日
10 参考事項	特に注意点等ある場合、ここに記入		

指導事項	発掘調査 立会調査 慎重工事 試掘・確認調査 その他()
------	-------------------------------

〔注意事項〕 太線内は届出者が記入。 指導事項欄は都教育委員会で記入。
遺跡の種類・現状・時代及び工事の目的欄は、該当項目を で囲み、該当項目のない場合は()内に記入。

所在地	計画地の住所を記入
面積	掘削（建築）面積 = 配管・地下施設設置等で掘削する面積の合計 敷地面積 = 計画地の敷地面積（道路からの引込み工事のみの場合は記入不要）
土地所有者	計画地の所有者（公道部分については道路管理者）の住所・氏名を記入 届出者と土地所有者が異なる場合には別途「土地所有者の承諾書」または 道路占用許可書の写し（公道を掘削する場合）が必要
遺跡の種類	記入不要
遺跡の名称 員数	記入不要
遺跡の現状	計画地の届出時点での状況を記入
遺跡の時代	記入不要
工事の目的	届出の工事の内容・目的を記入（以下はよくある例） 開発行為や宅地造成 「宅地造成」 ガスパイプ・水道管等の宅地への引込み工事 「ガス・水道・電気等」
工事主体者	工事の建築主（施主）の住所・氏名を記入（複数人いる場合は連名で） <u>通常は 届出者 = 工事主体者 です</u>
施工責任者	施工業者（施工主）を記入 （届出時点で未定の場合は「未定」と記入 空欄にしないこと）
着手・終了予定時期	工事の着手および終了予定時期を記入（届出時点でのおよその時期で可）